

副町長就任挨拶



このたび、議会の同意をいただき6月1日付で副町長を拝命、就任いたしました。4年の任期中は、桃原秀雄町長が掲げる「農林水産業の活性化」等、6本の基本政策を推進するために全力で桃原町長を補佐してまいります。また、これまで約1年間の教育長職は、本町の教育環境の課題を把握することができました。宇江城教育長と緊密に連携して島の子供たちの未来のために各種施策を推進してまいります。

どうか、町民の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

教育長就任挨拶



この度、議会の同意をいただき、令和4年6月1日久米島町教育長に就任いたしました。久米島町は、「夢つむぐ島一島人みんなで織り上げる未来」を基本姿勢に人づくりが最も重要だと考えております。教育行政では、学校教育、社会教育、文化の振興等、多岐にわたる業務を担い子どもから大人まで全ての世代が笑顔でワクワク過ごせる島づくりを目指しています。併せて、変化の激しい社会を乗り切っていくため、子どもたちの明るい未来の構築に向け最適な教育環境整備に努めます。子どもたちはダイヤモンドの原石です。学校・保護者・地域の連携は基より久米島町全体で「黄金の子（くがにこ）」を磨き上げ、島の良さを知り故郷に誇りを持つて羽ばたくチャレンジ精神旺盛な自立した子どもたちの育成に取り組んでまいります。微力ではありますが、教育長として久米島町の発展のために全力で取り組みたいと思っております。町民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

まちな話題

手話技能検定 全員合格

3月28日、島内で手話技能検定の集団受験が行われ、岡村 盡さん・與那嶺真里奈さん・守屋亜純さん・久場ひかるさん・大竹優里さん・平良恵理奈さん・芦田真希さんの7名が3級に挑戦し、見事に全員合格することができました。手話技能検定3級は『接客に必要とされる具体的な会話や手話での道案内、会社や学校、手話サークルなどでの会話ができる。』というレベルで、島内で受験可能な最高級でもあります。7名は1年前に教育委員会主催「やさしい手話教室」を終了後、4級を受験し合格。その後も学習を続け、今回の検定に挑みました。大竹優里さんは「合格で自信ができました。まだまだ勉強は必要ですが、手話を必要とする方々と楽しく会話できるようになるのが目標です。『お手伝いできることはありますか?』の一言が言えるように、これからも頑張りたいと思います」と、今後の目標を語りました。



豊漁・航海安全を祈願

鳥島ハーリー・儀間ハーリー 3年ぶりに開催

旧暦5月4日ユッカヌヒーにあたる6月2日に伝統行事ハーリーが鳥島漁港で行われました（儀間は6月5日に実施）。新型コロナウイルスの影響で2年間中止となっていたが、今年3年ぶりに開催されました。豊漁と航海の安全を祈願するハーリーは、ウガンバーリーからはじまり、職域の部による競漕が行われました。鐘の音に合わせて声を掛け合いながら進むハーリーに会場からは拍手や声援が送られていました。



真謝稲穂祭角力大会

6月13日、真謝ぼさつ堂前（ブサードー）にて真謝稲穂祭角力大会が3年ぶりに行われました。今年は、学生の部が中止となり、一般の部とアンマー角力のみで開催となりました。一般の部には23名、アンマー角力には8名がエントリーしました。

一般の部では、1回戦から熱戦が繰り返され、会場からは拍手と声援が送られました。優勝は、前回の覇者、真謝出身の力士が連覇を果たしました。アンマーの部では、滑稽な角力で会場が笑いに包まれる場面もありましたが、決勝戦では、男性も圧倒される白熱した戦いに会場からは歓声があがりました。

